

研修会報告

平成 26 年 6 月 29 日

文責：学術部細胞診部門 今野かおり

研修会テーマ「精度管理フォローアップ研修会」

開催日時 平成 26 年 6 月 28 日（土）14：00～16：30

会場 東北大学病院 病理部討論室

講演 「難解症例」

講師 東北大学病院 病理部 藤島史喜先生

参加者 会員参加者 7 名 非会員 0 名 賛助会員 0 名 学生 0 実務委員 3 名 計 10 名

内容

平成 26 年度精度管理調査の結果報告とそれぞれの設問に対する解説、回答結果の解析を行い出題意図や回答者からの質問や意見に対し返答を行った。

また、今回正解率が低く評価対象外となった二設問についてのアンケートを行ったが、「日常遭遇する機会が少ないものは対象外」0 名、「代表的な組織型については評価すべき」2 名、「設問の出し方に問題があるかどうかで判断すべき」10 名、「わからない」1 名（複数回答）との回答を得た。実際に精度管理調査を回答する際の方法について尋ねたところ、我々の期待した「日常業務で判定する際と同様に行う」という回答のほかに、「腕試し」として特に文献などは参考にせずに行っているとの回答もあり、これらが正解率の向上につながらない理由かとも思われた。精度管理は、日常遭遇する機会の多い疾患の目合わせ（どこの施設でも同じ判定ができる）の意味とともに、普段目にする機会は少ないが、資格取得時に学習した組織型の再確認と判定基準や報告様式などの改定があったものなどの再確認の場でもあるとの認識で一致をみたのは、収穫であった。

講師の藤島医師には、腓病変を中心に組織診断でも苦慮する疾患の症例提示や診断基準などについてご講義頂き、実際の画像を多数提示いただいた。

しかしながら、私の不手際で参加者が少なかったことは技師会員はじめ、理事の皆様にも率直にお詫び申し上げたい。